

事業所名

児童発達支援 みらいく南柏駅前

支援プログラム

作成日

2026

年

4

月

1

日

法人（事業所）理念	私たちは、子どもたちの発達未来に貢献する。 1人でも多くのお子さんに質の高い発達支援を、1人でも多くの保護者様に質の高い相談支援を。								
支援方針	私たちは、発達知識を学び、常に学びを追求し、子どもの発達を作ります。 子どもの可能性を信じ、子どもの個性を受容し、個性を活かし、子どもの基礎土台作りに導きます。 「からだ・あたま・こころ」の発達を支援し（身体的・精神的機能の適正な発達を促し）社会性を育むことによって日常生活及び社会生活を円滑に営めるようにする。								
営業時間	平日	11	00	18	00	送迎実施の有無	あり	なし	
	学校休業日	10	00	17	00				分まで
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	健康的な生活習慣を確立し、日常生活に必要なスキルを向上させることを目的とし、下記の①～⑤の項目から本人（利用者(家族含む)）の状況に合わせ支援を提供する。 ①健康状態の把握 ②健康の増進 ③リハビリテーションの実施 ④基本的な生活スキルの獲得 ⑤構造化等により生活環境を整える 具体的な支援内容：トイレ・食事等の指導、日常生活に必要なスキル向上の支援（整理整頓、着替え、あいさつ、手洗い・うがい等の習慣化、時間の管理など）、保護者等との情報共有							
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の習得や、感覚の統合を促すアクティビティなどを通じて、身体的な発達をサポートすることを目的とし、下記の①～⑥の項目から本人（利用者(家族含む)）の状況に合わせ支援を提供する。 ①姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 ②姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用 ③身体の移動能力の向上 ④保有する感覚の活用 ⑤感覚の補助及び代行手段の活用 ⑥感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応 具体的な支援内容：ハンモック、トランポリン、ポルタリング、ボールプールなど全身を使った粗大運動での感覚統合を行い、脳機能・運動機能・姿勢保持の向上を目指します。綱引き・ボール遊び・大人よじ登り遊びなどで微細運動を行い、手先の機能向上を目指します。							
	認知・行動	思考力や判断力の育成、学習能力の向上、適切な行動の獲得などを目的とし、下記の①～⑥の項目から本人（利用者(家族含む)）の状況に合わせ支援を提供する。 ①感覚や認知の活用 ②知覚から行動への認知過程の発達 ③認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 ④数量、大小、色等の習得 ⑤認知の偏りへの対応 ⑥行動障害への予防及び対応 具体的な支援内容：風船遊び・シャボン玉遊びなどで微細運動を行い、視知覚の機能向上を目指します。 1日のスケジュールを可視化して掲示することで、見通しも持ちながら時間に応じた行動の切り替えができるよう支援していきます。 活動時間の切り替えなど集団指示で行動できるように、一人一人に寄り添いながら支援していきます。							
	言語 コミュニケーション	将来日常生活や社会生活を円滑に営むために、言語やコミュニケーション能力を向上させることを目的とし、下記の①～⑦の項目から本人（利用者(家族含む)）の状況に合わせ支援を提供する。 ①言語の形成と活用 ②受容言語の支援 ③人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 ④指差し、身振り、サイン等の活用 ⑤読み書き能力の向上のための支援 ⑥コミュニケーションツールの活用 ⑦音声、文字等のコミュニケーション手段の活用 具体的な支援内容：言語支援（言葉遊びやリズムのある詩・歌で発語を促す）、音読や日常の出来事の話をする練習（身振り手振りも含む）、ゲーム（ルールや他との距離感の構築）							
	人間関係 社会性	将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるようにすることを目的として、人間関係の形成や社会性の発達を向上させることを目的とし、下記の①～⑥の項目から本人（利用者(家族含む)）の状況に合わせ支援を提供する。 ①愛着行動の形成 ②模倣行動の支援 ③感覚運動遊びから象徴遊びへの支援 ④一人遊びから協同遊びへの支援 ⑤自己の理解とコントロールのための支援 ⑥集団への参加への支援 具体的な支援内容：公共の場でのマナーの練習（公園遊ぶ、地域イベントの参加など）、他との関係作り（挨拶、遊び、お礼、謝る、譲り合い、手伝い、表現など）							
家族支援	随時相談に乗りながら保護者様の悩みを聞き専門的な視点からアドバイスを行っています。 利用者に関わる家族に対して必要に応じて発達知識などをお伝えします。				移行支援		必要に応じて園・学校とも連携を取りながら情報共有を行い、支援内容の検討、進路や移行先について保護者様と一緒に準備を行っています。		
地域支援・地域連携	医療機関や発達支援センター、相談支援事業所、他の児童通所支援事業所との情報共有を行いながら支援内容の検討をしていきます。				職員の質の向上		定期的に社内研修を行い、専門的な知識の向上に努めています。外部講師を派遣して研修を受けたり、外部での研修に参加しています。		
主な行事等	定期開催の行事：10月ハロウィン 12月クリスマス会 不定期開催の行事：おでかけ（トランポリンスタジアムなど）野外活動（公園など）								